

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 12月 20日

事業所名

さいたま土呂教室

保護者等数(児童数) 20

回収数 18

割合 90

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15件	3件	0件	0件	・少し狭く感じる。 ・広さが足りない気がするがそれほど問題はない。 ・自由遊びも見てもらい安心できる。	・利用人数や活動内容により部屋を分けたり、公園や外出で活動にメリハリをつけ、児童が安全に過ごせるように工夫をしている。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18件	0件	0件	0件	・とても手厚く配置してくれている。 ・先生が入れ替わっても良い先生ばかりで信頼している。	・今後も職員の研修や事例検討等を通してスキルアップを行っている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17件	1件	0件	0件	・施設は安心して過ごせる場所になっていると思う。 ・狭いスペースも工夫されていると思う。	・ヒヤリハット事例を検討し、利用者がより安心安全に過ごせるようにリスクマネジメントを行っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18件	0件	0件	0件	・部屋は広くないが、整備されていて安心できる。 ・いつも清潔で居心地が良い。	・整理整頓を心掛け、気持ちよく利用していただけるようにしている。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	18件	0件	0件	0件	・毎回相談しながら決めているので、本人に合った対応をしてもらっていると感じる。 ・支援計画は家族の希望を取り入れてくれている。	・今後も丁寧なアセスメントを心掛け保護者のニーズを把握したうえで、職員たちとチームで課題を共有し計画に生かせるようにしていく。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	18件	0件	0件	0件	・各児童の特性に合わせた計画だと思う。 ・子供に合った支援をしてくれている。	・ガイドラインに沿った計画内容を作成すると共に、説明時に具体的にお伝えし、保護者の方にご理解していただけるようにする。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18件	0件	0件	0件	・個別対応等、子どもに必要な対応をもらっている。	・児発管と担当職員を中心に、支援計画の具体的な目標に沿った支援と振り返りを継続していく。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	18件	0件	0件	0件	・日頃いろいろなイベントを企画してもらっている。 ・自宅ではできないような取り組みをたくさん考えてもらい感謝している。	・活動内容が固定化されないよう、新しいものを取り入れたり創意工夫を行っている。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10件	2件	1件	5件	・本人が保育所を利用しており、ニーズはない。	・地域の小学生を招いて児童の児童と活動を共にし交流を行っている。こうした取り組みを増やし、広げていきたい。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18件	0件	0件	0件	・契約時に細かく説明を受けている。	・今後も初めて利用の方に分かりやすいように丁寧に説明を行っている。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらわら及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	18件	0件	0件	0件	・支援内容についてしっかり説明を受けた。	・今後も保護者の方にご理解いただけるよう、丁寧に説明を行っている。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	12件	2件	1件	3件	・子供の特性に合わせた接し方や伝え方を考えてくれていると感じる。	・必要に応じて個別に対応させていただく。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18件	1件	0件	0件	・こだわりや苦手なことがたくさんある我が子だが、本人に合わせた対応をしてくださっている。 ・保育園送迎を利用している為、直接先生と話す機会が少ない。 ・連絡帳や送迎時の申し送り支援の様子	・児童の細かな変化にも気づいて申し送りを行い、保護者の方との情報共有を継続していく。
保護者への説明等	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18件	0件	0件	0件	・いつも相談ののっていただき有難い。 ・本人に無理なく支援してもらっている。親として学ばせてもらっている。 ・面談時にアドバイスをもらっている。	・引き続き、迅速に相談に応じ助言を行っている。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15件	3件	0件	0件	・定期的に父母の会を開催いただき、情報を得ることができた。	・定例の保護者会の他、保護者のニーズに応じて保護者同士のコミュニケーションが取れる機会を設けていく。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	16件	0件	0件	2件	・電話で悩んでいることを聞いてもらい助かっている。 ・どの先生に相談や報告をしても連絡が行き渡り、連携していると感じる。	・今後も迅速に相談に応じられるよう体制を整えていく。 ・相談に応じられることを更に発信していく。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18件	0件	0件	0件	・連絡帳や帰りの申し送りその日の様子を触接聞けて、子どもがどんな様子だったかが分かるので安心する。	・今後も職員で情報共有を行い、児童や保護者へ円滑に情報伝達できるようにしていく。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	18件	0件	0件	0件	・こぼんどよりや手紙、インスタグラムで支援の様子が分かり易く伝わってくる。	・毎月の『こぼんどより』の発行継続とホームページの掲載、インスタグラムの活用を行っている。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	17件	0件	1件	0件	・間違えて別の方のものが渡されたことがあった。	・今後も個人情報の取り扱いには十分注意し、保護者の同意を得て行っていく。
	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	17件	1件	0件	0件	・すべて説明を受けている。 ・コロナ禍でも連絡を密にしてくれた。	・避難訓練を定期的に行うこと、保護者へのマニュアルの周知も引き続き行っていく。
満足度	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16件	1件	0件	1件	・毎月避難訓練は行われている。 ・訓練での子どもの様子も報告がある。	・放課後等デイサービスと共に定期的に避難訓練を行っている。
	22 子どもは通所を楽しみにしているか	18件	0件	0件	0件	・いつも通所を楽しみにしている。 ・慣れるまで泣いていた子が今では楽しく通っている。 ・家で先生や友達の話をしてくれる。	・今後も子供たちの笑顔と成長のためにできる支援を行う。
	23 事業所の支援に満足しているか	18件	0件	0件	0件	・家族のように温かく接していただき感謝している。 ・子どもの成長を感じている。	・利用者のニーズを的確に把握し、益々ご満足していただける事業所を目指す。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 12月 20日

事業所名 さいたま土呂

教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9件	0件	・利用児童が多い日は、プログラムを分けて活動を行っている。	・今後も安全に活動ができる工夫を継続していく。
	2	職員の配置数は適切であるか	9件	0件	・1対1対応が必要な場合もあるが、職員同士が連携をし工夫することで対応できている。	・一人一人の職員が、複数の担当する児童を掌握できるようにする。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9件	0件	・各部屋の案内を掲示し、児童が文字とイラストで理解できるようにしている。	・非常ベルの扱いやドアの施設等のチェックをこまめに行い、迅速に改善していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9件	0件	・感染症予防対策と合わせて、毎日の清掃、消毒、整理整頓を行っている。	・定期的に担当者が担当部署を整理整頓する。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9件	0件	・児童発達支援計画やそれに基づき毎月の振り返り、日々の振り返りを行っている。 ・活動計画書を作成して目標を明確にし、支援後に振り返りを行っている。	・今後も継続してPDCAサイクルを行い習慣化していく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9件	0件	・保護者からの率直な意見を吸い上げ、職員で共有し改善できることを考えていく。	・プログラムの工夫に関して、保護者のニーズと向き合い改善していく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9件	0件	・事業所内自己評価表については、職員各々が評価をしたのち、すり合わせを行い制度や支援内容を確認している。	・自己評価を踏まえ、職員ひとりひとりがスキルアップしていくために目標を定めた面談を行っている。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9件	0件	・困ったことは外部評価員に相談をし、業務改善を行っている。	・今後も引き続き連携をとっていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9件	0件	・外部研修、事業所内研修を年間を通して行っている。	・毎年行われるよう、年間計画で決めておく。 ・希望者が希望の研修に行けるようにする。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9件	0件	・アセスメントで得た情報は職員間で共有し、支援計画に係る事業所内担当者会議で課題を設定している。	・児発管以外の職員も面談や計画に参画できるようにしていく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9件	0件	・一般発達検査を保護者と職員それぞれが行い児童の発達段階を評価している。 ・必要に応じて新版K式等の発達検査を行っている。	・評価した結果を共有し、支援に活用する。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9件	0件	・各職員が担当児童を持っているため、支援計画の記載事項は把握しており、支援内容や目標を確認している。	・複数の職員で目を通し、目標や支援内容を共有できるようにする。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9件	0件	・日々の記録を支援計画に沿って記入できるよう、ファイルに添付することで全職員が把握しやすくなっている。	・引き続き行っていく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9件	0件	・2か月先のプログラムを複数の担当者で立案し、前月に担当リーダーが具体的な内容を決めている。	・前向きな意見やアイデアが出やすいようにしていく。 ・長所外みにはお楽しみとして各職員が考案した活動を行う。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9件	0件	・月毎に、週毎に、バランスを考えてプログラムを立案している。	・新しい事にチャレンジできるように子ども達に必要な活動を考案する。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	9件	0件	・児童一人一人に合わせた目標となるように工夫をしている。	・児童の好き、楽しいを大事にしながら、適切にプログラムを提供していく。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9件	0件	・限られた時間ではあるが、リーダーを中心に毎日行っている。	・送迎等で打ち合わせに参加できない職員のために、役割やタイムスケジュール等を可視化している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9件	0件	・困り事や反省点、児童対応等について活動記録や業務日誌に残すと共に話し合いを行っている。	・その日に参加できなかった職員は、業務日誌や活動記録で確認する。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9件	0件	・毎日必ず行っている。	・出勤でない職員も確認や状況把握できるようにしている。怪我等についてははっきりと振り返りを行う。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9件	0件	・6か月一度、全保護者とモニタリング面談を行っている。	・今後も継続していく。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9件	0件	・必要時応じて行政・小学校・医療機関・相談支援等の関係機関とのサービス担当者会議に出席している。	・今後も必要に応じて児発管や児童担当職員が対応していく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9件	0件	・児童発達支援センターからのご紹介や情報提供がある。	・必要に応じて情報提供等の連携を行っていく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0件	0件	・医療的ケアが必要な児童、及び重症心身障害のある児童は現在利用していない。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0件	0件	・医療的ケアが必要な児童、及び重症心身障害のある児童は現在利用していない。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9件	0件	・保護者のニーズに合わせて幼稚園、保育所、他事業所に見学に行き、情報共有を行っている。 ・幼稚園等での園行事に関して担任の先生と電話にて共有したり、こぼんはうすへの見学も受け入れている。	・保護者、または幼稚園、保育所のニーズに合わせて連携を行っていく。 ・こぼんはうすからの要望の時には保護者の許可のもと行う。

	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9件	0件	・入学児童に対して特別支援学校の担任の先生との電話での情報共有と申し送りを行った。 ・個別のケースについて、相互に見学し、支援方法を模索したりアドバイスを頂いている。	・小学校と児童発達支援の連携を、放課後等デイサービスにも繋げていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9件	0件	・提携事業所との連携や相談、助言を定期的に行っている。 ・相談支援員を通して児童発達支援センターとの見学や連携も行っている。	・他事業所や児童発達支援センターとの連携は絶やさず継続していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	9件	0件	・地域の小学生を招き、こぼんほうずで児童と共に活動を行った。	・地域に開かれた事業所になるために活動を続け、広く周知していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	9件	0件	・担当者が定期的に参加している。	・継続的に会議に参加していくことで、地域との連携を増やしていく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9件	0件	・連絡帳や送迎での受け入れや申し送りを通して、保護者の方に話しやすい環境をつくり、児童の状況や課題を伝えている。	・保護者との信頼関係を保つため、日頃から職員間での共通理解も深めておく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	9件	0件	・個別の面談や日々の情報共有等の中で、保護者の悩みを汲み取り、対応を共に考えようとしている。	・必要に応じて個別に対応していく。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9件	0件	・内覧や契約時に細かくお伝えし、分かりやすく伝えるようにしている。	・質問があれば丁寧に答えていく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9件	0件	・それぞれの支援計画の内容を確認し了承を頂いている。	・質問があれば丁寧に答えていく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9件	0件	・電話での相談も多く、その都度対応している。	・相談があれば迅速に対応していく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9件	0件	・保護者会をはじめ、親子参観、親子遠足、モニター見学会を行っている。	・今後も保護者同士のつながりを持つ機会を提供していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9件	0件	・なるべく早い段階で相談にのったり、体制整備のための会議を開いたりしている。	・今後も必要に応じて迅速に対応していく。
非常時の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9件	0件	・毎月お便り「こぼんだより」を作成し、ホームページ上で開示している。また、必要時に応じて参観や遠足などのお知らせを配布している。	・「こぼんだより」は引き続き行って、読みやすく分かり易いように工夫する。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9件	0件	・規約のとおり注意している。	・同意書に基づいて対応を継続していく。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9件	0件	・総カードを使用したり工夫を行っているが、もっと努力は必要だと思う。	・様々なツールを利用したり、職員間でミーティングを重ねて対応を共有することで、児童が過ごしやすくなることを目指す。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9件	0件	・地域の小学生を招待して活動を一緒に行った。	・こうした活動を継続しつつ、地域に開かれた事業所をめざす。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9件	0件	・玄関の見えやすい場所にファイリングしている。	・マニュアルに関しては契約時に口頭説明を行っているが、定期的に保護者の方への周知は必要かと思う。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9件	0件	・放課後等デイサービスと共に、広域避難所への訓練を行っている。また、児童発達支援の児童は経験の積み重ねが大事なことから、毎月児童のみでも行っている。	・地震や火災に対する訓練が多くなってしまうため、今後不審者に対する訓練も行っていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9件	0件	・アセスメント時に保護者の方からお子様の既往症について聞き取りをし、対応法を伺っている。	・てんかん発作について、事業所内研修を行い知識を深めた。
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9件	0件	・現在は医師の指示書が必要な児童がいない。 ・アレルギーについては保護者から	・対象児童が現れた時に慌てないように、事業所内で対応できることを予め準備しておく。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9件	0件	・気づきの観点からも「ヒヤリハット月間」を設け、その後のグループワークで振り返りを行っている。また、リスクマネジメント研修も	・事業所内のリスクマネジメント研修を通して、日頃から安全に対する気づきや意識を深める研修を行った。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9件	0件	・事業所内で虐待防止研修を行い、全職員で共有し、虐待防止に努めている。	・事業所内研修は今後も継続していく。 ・グレーゾーンの事案が起きた場合は職員間で話し合い、共通認識をもって改善していく。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9件	0件	・現在は身体拘束の対応が必要な児童がいない。	・必要に応じて対応していく。	